

町政を問う!!

一般質問とは、町政全般について、フリーテーマで行政側に質問するもので、議員の権利のひとつとなっています。

8 議員が質問・提案を

地域福祉計画

住民と共創し 地域福祉向上を

住民の声聴き 推進する



はまむら みか 議員
濱村 美香

問 地域福祉計画は、地域福祉推進の主体である住民の参加を経て、地域課題を明らかにし、その解決のために必要となる施策の内容や量、体制について関係機関や専門職が協議をし、計画的に支援サービスを推進していくものである。

今回策定された計画は行政と社協の推進計画と感したが、住民と共創するためには対話や周知が必要と考える。今後の推進の在り方を問う。

答 佐田健康福祉課長

新型コロナウイルス感染症拡大前は、地域での住民座談会を開催していたが、ここ数年は開催が難しくなってきた。そのため、あったかふれあいセンターの運営推進会議で出された意見を拾い上げたり、作業部会を3回開催し、若い世代から貴重な意見をいただいたりした。

今後、計画委員とともに、住民の皆様の声を拾い上げながら、進捗管理や、随時の更新をしていく。

周知については、計画委員には送付している。デジタル推進の観点から、ホームページでの閲覧をお願いしている。希望があれば窓口で、印刷したものをお渡しできるように対応する。

問 精神障害を持つ方への支援、未就労の若者への支援、ヤングケアラーに対する具体的な施策がないが、町の取り組みは。

答 佐田健康福祉課長

精神障害のある方への支援は、特性に応じた個別支援を行っていく。未就労の若者やヤングケアラーの支援については策定が努力義務化された「黒潮町子ども計画」の中で支援の詳細を検討していく。

問 自身の時間を削って奉仕するボランティア活動は尊いことである。福祉活動を担うボランティアの力は大きく、今後も大切な福祉人材と考える。ボランティア活動をしていく方へ感謝の気持ちを大切に、ボランティア教育も推進されると思うが、具体的な取り組みを問う。

答 佐田健康福祉課長

具体的な福祉教育としては、小中学校、高校、町内事業所等を訪問しボランティアや地域共生社会についての学習の機会を提供する。

また、ボランティアフェスティバルを通して活動団体の広報、周知、活動の支援をしていく。

ボランティアセンターを運営する社会福祉協議会が活動しやすいように支援していく。

様々な団体や個人が活動し、地域福祉の推進を行っていただいていることは承知しており、今後もその力を借りながら、住民活動を支援していく。



見守り支援事業でボランティアさんによるお弁当作りの様子
(令和5年9月28日 保健福祉センター)